

自分で選んだ就職活動を。

理工学部応用化学科有機反応解析研究室  
株式会社野村総合研究所

就職活動はよく「お見合い」と同じだと言われます。実際に企業の人事の方もそうおっしゃっていましたし、出会いに場を設け、お互いのことを知り、長いこれからの人生を共に歩んでゆけるか・・・という点において私も全くそうであると思います。

お見合いであってもそうであるように、就職活動において最も大切なことは会社（相手）に何を求めるか？であると思います。知名度（見た目）、仕事内容・企業風土（性格）、仕事先（住所）・・・など。その中で就職活動の「軸」になるものをしっかり持っていないと就職活動を乗り切れません。

**皆さんはお持ちでしょうか？**

私は「人の生活を根幹から支える仕事」、「システム系の仕事（趣味）」、「関東にいられる仕事（趣味）」の3つの軸を持って就職活動に臨みました。曖昧でもいい、人に言えなくてもいいので目的を持って取り組むことが大切です。

その結果、受けることになったのが金融・システム・コンサル・通信・広告・保険系の企業で、どちらかというと『文系就職』になります。

今日は就職活動を通して感じた「こんなことも大切だ」という**小ネタ**をいくつか紹介したいと思います。去年の大雑把なスケジュールを眺めながら進めて行きたいと思いますので皆さん、ついてきてください。

去年のスケジュールとして

10月～翌1月

会社説明会・合同説明会をはしごしていました。多い時は4社の説明会をはしごしたり、新宿→横浜→新宿の大移動をしたりしていました。交通費がかかるかかる・・・。一日2千円はザラにありました・・・。（←**貯めておきましょう!**）

**会社説明会には早い段階から参加**していたほうがよいです。企業にとっては「こんなに早い時期からうちの会社に興味を持ってきている」という好印象を与えます。（体験談）面接の際の資料として、説明会に何回来ているか、参加態度はどうであったかなどが参考に

される場合があります。またこの時期（年末は除く）に **OB 訪問などをしておく** とよいでしょう。僕は3月にしましたが、OB 訪問を何人したか、をエントリーシートに書かせる企業もあります（保険系）。この時点でエントリーは 30 社（ほとんどが大手）。

2月～4月

テストセンターを受けに行ったり、面接を受けに行ったりしていました。面接のピークは4月の第1週で一日に全く色の異なる企業の面接が3つ重なる時もありました。**精神力と共に体力**が鍛えられます。また、当然ではありますが、**遅刻は厳禁**です。いつも時間ぎりぎりになってしまう人・・・わかります。気持ちは痛いほどわかりますが、電車の遅延も遅れた理由にはなりませんので、面接の始まる 30 分前には現地に到着しておきましょう。この時点でエントリーは 40 社ちょっと（中小・ベンチャーが加入）。

一般的な面接は

グループ面接（または個人）→GW（グループワーク）→個人面接×数回→最終面接 という流れで日に日に参加者が減っていきます。

GW ではかなりばつさりと落とされます。同じグループの人が次回にいなくなるというのは精神的にかなりのプレッシャーになります。外資系企業の面接は早い時期にあるので、**本命の企業を受ける前にたくさん面接**をこなし、経験値を積んでおきましょう。

**面接は、情報量の勝負**です。採用担当は自分がどうしたい、何が好きだから貴社に入りたい、ではなく**弊社のこと、弊社が抱えている問題を知っているか、それに対し自分なりの意見を持ち合わせているか、を知りたいのです。なんでなんで？と責められるので、何を聞かれても大丈夫なように情報のストックをたくさん作っておきましょう。企業サイト、就職活動サイト、日経新聞などを活用してたくさんの情報を自分のものとしましょう。**

話したいことは尽きませんが、長いのもアレですのでこの辺で失礼します。他にも聞きたいことがある場合は OB または内定者に直接連絡を取って見ましょう。皆さんの就職活動がうまくいくことを祈っております。